

2019 年度大学入試センター試験 解説〈地理B〉

第1問 世界の自然環境と自然災害

問1 正解は①

4地点の特徴的な土壌と植生に関する説明文の正誤を判定する。各地点の気候の違いから判断できる。

①は適当でない。アのギニア湾岸西部では弱い乾季を持つ熱帯雨林気候区（熱帯モンスーン気候）の下で、落葉樹を含む熱帯林が発達している。大量の降雨が土壌中の養分を洗い流し、鉄分などが多く残った赤色土ラトソルが分布する。

②は適当。イのアラビア半島では乾燥が強く、植生の乏しい砂漠が広がる。

③は適当。ウの華北平原は温帯～亜寒帯（冷帯）に属し、森林には広葉樹と針葉樹が混在し、褐色森林土が分布する。

④は適当。エのパンパは温帯と乾燥帯の遷移地域で、草原の腐植を豊富に含む黒色土（パンパ土）が分布する。

問2 正解は②

4地点の地形断面図を判別する。大地形の分布から考える。

線Bは②。ロシアの東経60度付近には、長期間の侵食により低くなだらかになった古期造山帯のウラル山脈が南北に走っており、図の中央に小高い地形がみえる。

線Aは③。アフリカ東部の大地溝帯（グレートリフトヴァレー）を横切っており、標高2000mを超えるエチオピア高原とその周辺の複雑な地形断面を示す。

線Cは④。モンゴル高原の北に安定陸塊ないし古期造山帯が広がっており、標高1000m程度の比較的平坦な地形断面を示す。

線Dは①。アマゾン盆地は安定陸塊の卓状地にあたり、アマゾン川に沿ってきわめて低い堆積地形がみられる。

問3 正解は⑤

3河川の月別平均流量グラフを判別する。過去問でも頻出の内容である。

エニセイ川はH。冬季には凍結によって流量が減少し、上流のシベリア南部で雪解ける遅い春の5～6月に流量が急増する。

コンゴ川はF。流域の広い部分が年中多雨の熱帯雨林気候区に含まれ、流量が1年を通して多い。

ミシシッピ川は G。流域の過半が湿潤気候区に含まれ流量は安定的だが、3～5月にはロッキー山脈からの雪解け水により流量が増える。

問4 正解は①

4 地点の気候を示すハイサーグラフを判別する。各々の気候区を想起して考えたい。

キ（ケープタウン）は①。亜熱帯高圧帯の影響で夏に乾燥するが、冬は湿潤となる地中海性気候区である。南半球に位置するため、1月頃が夏であり、高温乾燥となる。

カ（リスボン）は②。これも地中海性気候区に属するが、北半球に位置するため、7月頃が夏である。

ク（ホバート）は③。偏西風の影響が強く、年中湿潤で気温の年較差が小さい西岸海洋性気候区である。

ケ（ニューヨーク）は④。アメリカ合衆国の大西洋岸は、年中湿潤かつ気温の年較差が大きい温暖湿潤気候区である。

問5 正解は④

北極海の海水分布に関する説明文の正誤を判定する。目新しい題材であるが、正確な資料の読み取りで対応できる。

④は適当でない。図6によると、「1981～2010年における9月の平均的な海水分布域の境界線」に比べて、「2012年9月の海水分布域」が縮小していることを読み取れるが、グリーンランド北部では後者の縮小は認められず、むしろ東シベリア沿岸などで縮小が顕著である。よって、海岸侵食の進行も、肢文とは逆にグリーンランド北部よりも東シベリアで著しくなると考えられる。

①は適当。このような被害を防ぐため、建造物は高床式に建設される。

②は適当。スエズ運河を通過する航路に比べて大幅に短縮される。

③は適当。極地の先住民は、犬ぞりを用いて海水氷上を移動しながら、アザラシなどを捕獲してきた。

問6 正解は②

熱帯低気圧・台風に関する説明文の正誤を判定する。大気の大循環と恒常風に関する基本的な仕組みから判断できる。前年の東大2次試験でも同じ論点が出題されている。

②は適当でない。中緯度地域における卓越風とは、亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）から高緯度側に吹き出す偏西風（年中、西から吹く風）であり、熱帯低気圧や台風はその影響で東に進むのであり、肢文のように西には進まない。図7においても、低緯度側では貿易風の影響で西に進み、中緯度帯に入ると東向きに転じる動きが読み取れる。

①は適当。台風の場合、北緯5度～25度の範囲で発生する。赤道上では台風の渦を作るコリオリの力が働きにくい。

③は適当。秋雨前線とは、秋の長雨（秋霖）をもたらす停滞性の前線のことで、梅雨前線と似ているが停滞期間は短い。

④は適当。南方の海洋からもたらされることから、温暖湿潤となるのは明らかである。

第2問 資源と産業

問1 正解は④

4作物の栽培地域の変化を示す統計グラフを判別する。やや手間はかかるが、丁寧に4つとも判断することで確実に正解したい。

コーヒーは④。世界の生産国ブラジルのほか、コロンビアやペルーなど南アメリカの割合が高いこと、近年ベトナムでの生産が急増しアジアの割合が高まったことなどから判断する。アフリカではエチオピアなど、北アメリカではホンジュラスなどで生産が多い。

オリーブは②。地中海式農業の象徴的な作物であり、スペイン・ギリシャ・イタリアなどでの生産が盛んなため、ヨーロッパやアフリカの割合が高い。

オレンジ類は③。以前はブラジルやアメリカ合衆国での生産が多かったが、これらの国での生産は停滞し、代わって中国やインドでの生産が増えている。

トウモロコシは①。世界の生産国は、コーンベルトなどにおいて飼料作物として大規模に栽培しているアメリカ合衆国である。トウモロコシを主食とするメキシコも生産上位国である。

問2 正解は③

コーヒー（アラビカ種）原産地を選択する。センター試験としては、珍しく単純な設問である。

アラビカ種の原産地は③（エチオピア）の高原地帯である。カッフアの地名が coffee の語源といわれる。「標高500～2000mの高地」がヒントとなる。

①のアラブ首長国連邦を含むアラブ文化圏は、初めてコーヒーを飲用とした地域とされ、香辛料とともに煮出して飲む。しかし、乾燥気候下にあるため、栽培地域ではない。

②のウルグアイの国土は南緯30度よりも南に位置する。低温に弱いコーヒーの栽培に適した地域は南北回帰線の間であり、「コーヒーベルト」と呼ばれる。

④のジャマイカでは、コーヒー栽培に適した環境を持つ山地において生産し、ブルーマウンテンのブランドで出荷している。

なおコーヒー豆の代表的な品種としては、アラビカ種の他にロブスタ種があり、苦味

が強いため缶コーヒーやインスタントコーヒーの原料として利用される。ロブスタ種はコンゴ盆地原産とされている。

問3 9 正解は④

コーヒー豆の流通に関する説明文の正誤を判定する。「習っていない」と慌てずに、落ち着いて対応したい。

④は適当でない。コーヒーの国際価格が決まるのは「消費国」である先進国の市場である。アラビカ種の市場はニューヨークに、ロブスタ種の市場はロンドンにあり、食品関連の多国籍企業が価格を支配している。つまりフードシステムを統括する拠点は「消費国」にあるといえる。一方、「コーヒーベルト」に位置する「生産国」は発展途上国であり、価格決定には関与できない。肢文は「消費国」と「生産国」を逆に説明している。

①は適当。コーヒー豆が輸出額に占める割合は、エチオピアでは 41.5% にも上る（2017 年）。いわゆる「モノカルチャー経済」の状態にあり、最貧国状態から脱することができていない。

②は適当。図 2 によると、消費国での流通過程にあたる「輸入業者」から「消費者」までで価格は 50 倍以上に跳ね上がっている。

③は適当。上の説明から分かるように、コーヒー豆生産者への利益配分はごくわずかで、多くは劣悪な環境の下で低賃金労働を強いられている。そこで、このような商品作物の持続可能な生産を支持し、人権擁護、環境保全、安定的で安全な商品の流通などを促進する目的で、先進国の消費者が、割高でも公正な価格で購入することをフェアトレードという。

問4 10 正解は①

農畜産物の生産に関する統計表の国名を判定する。標準的な問題である。

アメリカ合衆国は①。国内の巨大な消費市場を背景に、北東部から五大湖沿岸にかけて酪農地帯が発達しており、世界一の牛乳生産国となっている。また、国土に熱帯（フロリダ州やハワイ州）も亜寒帯（冷帯）も分布し、前者はサトウキビ、後者はテンサイの栽培に適した環境となっている。

日本は④。他の 3 国に比べて国土が狭小で、全体的に生産規模が小さい。サトウキビは沖縄・鹿児島、テンサイは北海道で主に栽培される。

ブラジルは②。国土の大半が熱帯に属し、世界の 4 割を占める最大のサトウキビ生産国である。製糖のほか、バイオ燃料の原料としても利用される。

ロシアは③。寒冷なロシアでサトウキビの栽培は不可能であり、製糖原料としてはテンサイが利用される。ロシアは世界一のテンサイ生産国であり、根菜として品種改良し

たものは伝統料理ボルシチの材料となる。なお、テンサイから砂糖を搾ったカスは飼料として利用される（第4問の間3を参照のこと）。

問5 11 正解は③

コーヒー輸出4カ国の輸出品目に関する統計表の国名を判定する。やや難しいが、特徴的な品目を手がかりに4つとも決定したい。

ベトナムは③。1986年から始まった社会主義体制下の市場開放政策「ドイモイ」によって、軽工業品（衣料品・はきものなど）や機械の組み立てなど、労働集約的な工業の生産拠点が立地し、工業化が進んだ。

インドは④。ダイヤモンドの原石を輸入し、安価な労働力を用いて研磨して輸出する加工貿易が盛んで、「宝石・貴金属」が1位となっている。

エチオピアは②。コーヒー豆原産国として、いまもコーヒー豆モノカルチャーの国である。なお「植物油用種子類」は、ごまを指す。

コートジボワールは①。世界一のカカオ豆生産・輸出国である。

問6 12 正解は⑥

日本の3業種における事業所分布の統計地図を判別する。「喫茶店」の統計は受験生にとっては初見であろうが、常識的に判断したい。アとイの判別が鍵となるが、内陸県に注目すれば決定は容易である。

喫茶店はウ。利用客の多い3大都市圏に店舗が集中する。

牛乳処理場・乳製品工場はイ。酪農の盛んな地域に立地するが、北海道の他に、東京に近い関東各県などにも集中する。

水産食料品製造業はア。イにやや似ているが、海産物を主な原料とするため、海に面しない内陸県（栃木・群馬・長野・岐阜など）の立地が著しく少ないことから判断できる。

第3問 都市と村落、生活文化

問1 13 正解は③

パリ周辺の景観を示した写真3葉を判別する。センター特有の出題だが、地誌的な知識がないとやや難しい。

Aはイ。パリは放射環状路型の街路形態をもち、古くからの都心部を中心に同心円状の道路と、放射状の道路・鉄道が組み合わされている。Aは都心から15kmほど離れた郊外であり、交通網が整備された現代になって住宅地区として開発された。

Bはア。Bは古い都心の西に位置する都心と郊外の結節点であり、古い建物を一掃する再開発が行われ、新たに都市機能の一翼を担う副都心が建設されたラ＝デファンス地

区である。

Cはウ。Cは古い都心の東部にあたり、歴史的・文化財的な建築物が多く残る旧市街地であり、景観保全を重視した再開発が行われたマレ地区である。

問2 14 正解は③

4 首都における機能集積を示した統計表を判別する。選択肢を絞った上でも迷いやすい設問であった。

クアラルンプール(マレーシアの首都)は③。マレーシアは人口約 3200 万人の国であり、首都に一定程度の人口集中がみられる。途上国であり、巨大企業の本社数はわずかだが、首都周辺では「マルチメディア＝スーパー＝コリドー」と称する IT インフラを備えた総合開発地域の建設が進められており、国際ハブ空港の座を目指すクアラルンプール国際空港の整備も合わせて、国際会議の誘致に寄与していると考えられる。

キャンベラ(オーストラリアの首都)は④。国内の 2 大都市シドニーとメルボルンの間に計画的に建設された政治都市であり、人口は約 42 万人で 2 大都市の 10 分の 1 程度にすぎない。経済的・社会的な中心地機能は主に 2 大都市に集中しており、巨大企業本社数や国際会議開催件数も少ない。

ソウル(韓国の首都)は②。国の総人口約 5000 万人の約 2 割が一極集中する首位都市(プライメートシティ)である。

ペキン(中国の首都)は①。人口 1300 万人を超える巨大都市であり、中央直轄市として中心地機能も極めて高い。ただし、国の総人口も約 14 億人と極めて大きく、それに占める人口割合は他 3 国と比べ小さい。

問3 15 正解は②

4 都市と河川に関する説明文を判別する。前問と同様に都市名に関する知識が必要となる。

ヤンゴン②。ミャンマーの旧首都(現首都はネーピードー)であり、稲作の盛んなエーヤワディー川デルタに発達した首位都市である。

ヴァラナシ(ベナレス)④。インドの宗教都市。ヒンドゥー教の聖地であり、聖なる川ガンガー(ガンジス川)の流域に位置する。

チョンチン(重慶)①。中国の 4 つの中央直轄市の一つで、長江の中流域に位置する工業都市。下流側に巨大なサンシヤ(三峡)ダムが建設されたため、電力供給だけでなく、水上交通も盛んになった。

リヴァプール③。奴隷貿易で栄え、産業革命期には後背のランカシャー地方の綿工業の成長とともに発展した。ロックバンドのビートルズが生まれた街としても有名。

参考 三角貿易

(1) 17～18 世紀の三角貿易

イギリスの工業製品をアフリカに、アフリカの奴隷を北中米に、北中米の砂糖・タバコをイギリスに送った。

(2) 19 世紀の三角貿易

インドの綿花がイギリスで綿製品に加工され、インドに逆輸出された。イギリスは中国からの茶の輸入代金を、銀ではなくインドからのアヘンで賄おうとしてアヘン戦争を招いた。

問 4 **16** 正解は③

宗教をともにする旧宗主国と植民地の組み合わせの正誤を判定する。センター試験には珍しい単純な 4 択問題である。

③は正しい。旧宗主国スペインのカトリック（キリスト教）が、アルゼンチンを含む中南アメリカの植民地で布教された。

①は誤り。旧宗主国イタリアはカトリック、植民地だった北アフリカのリビアはイスラームの信者が多い。

②は誤り。旧宗主国オランダはプロテスタント（キリスト教）、植民地だったインドネシアはイスラームの信者が多い。

④は誤り。旧宗主国フランスはカトリック、植民地だったベトナムは大乘仏教の信者が多い。

問 5 **17** 正解は④

奈良盆地の地形図 3 葉を歴史順に整序する。形式としてやや目新しいが、ごく易しい。

もっとも古いものはキ。古代の律令制の下で行われた、班田収授法に基づく口分田の区画（条里制）を背景にした方形の地割りや地名がみられる。

次に古いものはク。近世の幕藩体制のもとで形成された城下町の街並みを背景にした特徴がみられる。

もっとも新しいものはカ。現代における道路や工業用地の開発が進んだ地域である。

問 6 **18** 正解は③

日本の文化・レジャー施設 3 種の分布図を判別する。やや考えにくい設問であるが、常識を働かせたい。

公立の劇場・音楽堂はシ。いわゆる「ハコモノ」の公共施設であり、各自治体が競うように建設したため、大都市に集中する傾向はあるものの全国にまんべんなく分布して

いる。

国宝（建造物）はサ。国宝となっている建造物は寺社の割合が高いが、古都である京都・奈良やその周辺に集中する一方、アイヌ文化の栄えた北海道には分布していない。

国立公園の広報・展示施設はス。国立公園は代表的な自然環境を保護し利用の促進を図る目的で環境大臣が指定し、環境省が管理する自然公園である。大都市圏やその周辺には少なく、特徴的な景観を持つ火山帯や沿岸部など、国土の周縁部を含む地域が指定されている。

第4問 地中海沿岸地域

問1 19 正解は②

4つの地域・地点の自然環境に関する説明文の正誤を判定する。基本用語の知識が欠かせない。

②は適当でない。局地風の名称が誤り。秋～冬にディナルアルプス山脈を越えてアドリア海に吹きおろす、乾燥・寒冷の北東風はボラ。フェーンとは、春～夏にアルプス山脈を越えて北麓に吹きおろす、乾燥・高温の南風。

①は適当。テラロッサは石灰岩が風化した間帯土壌で、オリーブ栽培に適する。

③は適当。亜熱帯高圧帯では下降気流が卓越し、雨雲が生じない。

④は適当。湿潤地域に源流を持つ外来河川のナイル川の河口には、大きな円弧状三角州が形成されている。

問2 20 正解は④

4つの海峡に関する説明文の正誤を判定する。やや細かい地誌的な知識が求められている。

④は適当でない。Dのボスポラス海峡は、両岸ともトルコの最大都市イスタンブールに含まれ、トルコの領域はアジアとヨーロッパにまたがっている。

①は適当。Aのジブラルタル海峡の北側はイギリス領、南側はスペイン領となっており、それぞれスペイン、モロッコから返還を求められている。

②は適当。Bのボニファシヨ海峡（海峡名は知らなくてよい）は北のフランス領（コルス島）と南のイタリア領（サルディーニャ島）との国境になっている。

③は適当。Cのメッシナ海峡は、いずれもイタリア領のイタリア半島南端とシチリア島に挟まれている。

問3 21 正解は⑥

3品目の農作物の産地分布を示す統計地図を判別する。それぞれがどのような農業形

態を代表する作物であるかを考える。

コルクガシはク。耐乾性をもつ硬葉樹の一種で、夏の乾燥が厳しい地中海性気候区で栽培される。地中海式農業が盛んな地中海沿岸地域に産地が分布、その樹皮はワインボトルの栓などに用いるコルクに加工される。

テンサイはキ。主に製糖原料としてやや寒冷な地域で栽培される。ヨーロッパの混合農業地域では、飼料作物として輪作に組み込まれる（第2問の間4を参照のこと）。

ナツメヤシはカ。乾燥地域におけるオアシス農業の代表的な作物で、実（デーツ）を食用にするほか、菓子・酒の原料など幅広く利用される。

問4 22 正解は②

3カ国の輸出品目に関する統計グラフを判別する。各国の産業の傾向が大きく異なるので、基礎的知識があれば判定は易しい。

アルジェリアはサ。北アフリカの中でも早い時期から油田の開発が進んでいる。天然ガスの生産も盛んで、海底パイプラインによってヨーロッパに輸出される。したがって「原材料と燃料」の割合が高い。

イスラエルはス。ユダヤ民族によって第二次世界大戦後に西アジアに建国された国で、欧米諸国と結びつきが強く、国際統計では先進国に分類される。機械類や医薬品、宝飾品（ダイヤモンド）などの輸出が多く、「工業製品」の割合が高い。

モロッコはシ。北アフリカ西端に位置するが、石油資源は乏しい。近年、大消費地のヨーロッパに近いことから、安価な労働力を利用した衣類などの軽工業や、機械部品の製造業などが立地している。また、温暖な気候を利用した野菜・果実をヨーロッパに、たこやマグロなどの水産物を日本に輸出している。

問5 23 正解は①

都市の成り立ちや社会経済状況に関する説明文の正誤を判定する。慌てず丁寧に判断したい。

①は適当でない。西アジア～北アフリカのイスラーム圏では外敵の侵入を防ぎ、強い日差しを遮るための迷路型の道路網が多くみられるが、歴史的な背景を持つ旧市街のものである。

②は適当。2010年に表面化した「ギリシャ危機」は国内だけでなく、同じ通貨が流通するEU（欧州連合）諸国に深刻な影響を与えた。

③は適当。モナコは、周辺の南フランスの観光都市ニースやカンヌなどとともにコートダジュールと呼ばれる海浜リゾートを形成し、隣接するイタリアのリヴィエラ地方とともに、陽光を求めるバカンス客をヨーロッパ北部から数多く集めている。

④は適当。トリノ・ミラノ・ジェノヴァは、イタリア国内で重工業が発達した「鉄の三角地帯」と呼ばれており、トリノは自動車工業（フィアット）、ミラノは大企業の本社、ジェノヴァは鉄鋼・造船・化学などの部門が立地している。

問6 24 正解は②

4カ国の新しい国籍取得者（主に定住化した移民）の送出国に関する統計表を判別する。表中にアルバニア・ジョージアなど馴染みの薄い国が多く登場し、受験生にとっては難しかったと思われる。

イタリアは②。アドリア海を挟んだ隣国アルバニア、同じラテン系民族の国であるルーマニアの出身者を多く受け入れている。

ギリシャは①。地続きの隣国アルバニア出身者が突出している。

スペインは③。旧スペイン領である南アメリカのエクアドルやコロンビア出身者が多い（モロッコも、南部など一部はスペイン領であった）。

フランスは④。旧フランス領である北アフリカ3カ国が上位に並ぶ。

参考 アルバニア

アドリア海に面するバルカン半島西部にあって、旧ユーゴとギリシャに挟まれた国。イスラームのほか、アルバニア正教も信仰される。かつて共産主義を標榜したが、旧ソ連と対立してほぼ鎖国状態にあった。独裁体制の崩壊と市場経済導入後は、政治・社会の混乱から経済は破綻状態となり、ヨーロッパ最貧国といわれる。経済はユーロ圏との貿易や出稼ぎ移民からの送金に依存している。

第5問 ウクライナとウズベキスタン

問1 25 正解は①

2カ国の地形および気候環境に関し、高度別面積割合に関する資料および雨温図を判別する。個別の地誌に詳しくなくても、大まかな自然環境の理解があれば判断できるが、受験生にとってはやや厳しいかもしれない。

高度別面積割合について

ウズベキスタンはア。国土の西部はトゥラン低地とキジルクム砂漠が広がる低地だが、東部は新期造山帯のパミール高原に連なり、標高1500m以上の面積割合が比較的高い。ウクライナはイ。国土の大半は黒海に面する低地である。西部はカルパティア山脈にかかるが、低平な新期造山帯であり標高1000mを超える土地はわずか。

雨温図について

Y（ブハラ）はA。隔海度が高く砂漠気候に属するが、夏に乾燥する地中海性気候のグラフに似ている。地中海性気候区はヨーロッパから黒海・カスピ海の南側を経て中央ア

ジアまで帯状に伸びている。

X (キエフ) は B。高緯度で冬の寒さが厳しく、偏西風の影響で年中降水のある亜寒帯湿潤気候に属する。

問2 26 正解は④

2カ国の農産物と鉱産物各3品目の生産量を示す統計表を判別する。これも基本的な内容だが、両国に馴染みの薄い受験生にとっては判断に迷うかもしれない。

農産物について

ウズベキスタンはキ。砂漠周辺では、アムダリア川・シルダリア川からの取水による灌漑によって綿花の栽培が発達し、首都タシケントでは綿工業が立地した。しかし、過剰な取水は河川が流入するアラル海をほぼ消滅させた。

ウクライナはカ。肥沃な黒色土チェルノーゼムが分布し、小麦の生産によって世界的な穀倉地帯となっている。また、油脂原料としてヒマワリ種子の生産も盛んである。

鉱産物について

ウズベキスタンは E。石炭・天然ガス・ウランなどのエネルギー資源のほか、金鉱の生産が多い。

ウクライナは D。クリヴォイログの鉄鉱石とドネツの石炭は、旧ソ連時代からドニエプル＝コンビナート（工業地域）の重化学工業を支えた。

問3 27 正解は①

2カ国の1人当たり GDP（国内総生産）の推移を示すグラフに関する説明文の正誤を判定する。主題としては受験生には馴染みないが、誤文の内容が単純なので難しくない。

①は適当でない。旧ソ連の正式名称は「ソビエト社会主義共和国連邦」であり、その崩壊によって社会主義の計画経済から、自由主義的な市場経済に移行したのであって、肢文は逆である。

②・④は適当。いずれもグラフから明らかである。

③は適当。黒海に突き出すクリム半島をロシアが編入したことや、ウクライナ東部の反政府運動へのロシアの介入などを巡って、ウクライナでは反ロシア感情が高まっている。

問4 28 正解は③

両国に日本を加えた3カ国の食肉生産、食料供給量に関する統計表を判別する。シとスにそれほど明瞭な差がないため、判断に迷いやすい。

ウクライナはシ。ヨーロッパ的な食文化をもち、動物性たんぱく質の多くを肉類から

摂取している。1人当たり食料供給量も比較的高い。

ウズベキスタンはサ。他の中央アジア諸国と同様にイスラームの信者（ムスリム）が多く、ムスリムにとって教義上の禁忌（ハラーム）となっている豚肉の生産量が極めて少ない。

日本はス。食生活の洋風化が進んでいるものの、伝統的に畜肉の消費は少なく、たんぱく質摂取は大豆や魚介類に依存する割合が高い。1人当たり食料供給量も他の先進国に比べて低位である。

問5 29 正解は④

2カ国の言語を示す資料および都市景観を示す写真を判別する。前年に出題されて話題となった「ムーミン問題」を思い出させる構成だが、標準的な内容である。

数字を示す言語について

ウクライナ語はチ。インド＝ヨーロッパ語族のうち、ロシア語と同じスラブ語派に属するため、基本語彙はロシア語と似ている。ただし、両言語はいずれもキリル文字を用いて表記する。

ウズベク語はタ。アルタイ諸語のうち、トルコ語や他の中央アジアの諸言語（タジク語を除く）と同じテュルク語派に属する（言語系統には諸説あり）。なお、トルコ語はローマ字、ウズベク語はアラビア文字で表記する。

街並みを示す写真について

XはH。キリスト教のウクライナ正教が広く信仰されており、大聖堂などのキリスト教寺院がみられる。

YはG。先述のようにイスラームが信仰されており、イスラーム寺院（モスク）がみられる。乾燥地域に多い平坦な屋根をもつ建物も特徴的である。

第6問 地域調査（宮崎市）

問1 30 正解は①

3都市の交通の発達に関する資料を判別する。ユニークな題材であるが、新幹線の利用の有無が判断の基準となる。

水戸市はア。東海道新幹線は1964年時点で開通しており、東京からは在来線を利用する点も含め、鉄道所要時間は現状と大きくは変わらない。

佐賀市はイ。新大阪以西の経路のうち、博多（福岡市）までの山陽新幹線は1975年に全通し、博多からの九州新幹線も2011年に全通している。佐賀県内で新鳥栖～佐賀間に在来線を利用するが、全体での所要時間は大幅に短縮した。

宮崎市はウ。以前から鉄道の便が悪く、小倉（福岡県）からの在来線である日豊本線

はきわめて営業距離の長い路線である。今もその事情は変わらないが、九州新幹線で鹿児島まで南下して、そこから宮崎に回るルートを使うことである程度は所要時間が短縮された。

問2 31 正解は③

宮崎市への観光客数を示す統計グラフと日照時間を示す資料に関する説明文の正誤を判定する。基本的な理解と資料の読み取りで容易に判断できる。

③は適当でない。日本に南東の季節風が吹くのは夏季である。宮崎県が冬季に温暖となるのは、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響が大きい。

①・②は適当。資料から明らかである。

④は適当。6月から7月初旬にかけて、梅雨前線が日本列島付近に停滞して長雨をもたらす。

問3 32 正解は③

地形図と景観写真に関する説明文の正誤を判定する。

③は適当でない。高潮とは低気圧の接近によって海面が上昇することであり、多雨による冠水とは関係ない。西側の山地が海岸に迫るC付近では、多雨の時期に集中豪雨に伴う土砂崩れが発生しやすい。

①は適当。地形図から、ゴルフ場では自然の傾斜地形が改変されていることがわかる。切土とは地面を削りとして地盤面を低くすること、盛土とは土を盛って地盤面を高くすることで、いずれも傾斜地形を平らにするために行う。

②は適当。青島にはビロウを代表とする亜熱帯性植物群落がみられる。先述のように宮崎の沖合には黒潮が流れているが、フィリピン諸島沖から南西諸島を経て北上する流れである。これが南の島から種子を運んだという説がある。

④は適当。青島およびその南の日南海岸には、砂岩と泥岩の互層からなる波食台が発達する。これは、海底の地層が隆起して海波の侵食を受けたものである。軟らかい泥岩層が選択的に侵食されて凹部となり、「鬼の洗濯板」と称される奇観を残している。

問4 33 正解は④

土地利用を示した新旧の数値地図に関する説明文の正誤を判定する。ごく単純な読み取りで解決する。

④は適当でない。森林を示す濃いハッチ（凡例の模様）は、新図において内陸部で大きく減少し、沿岸部には残されており、枝文は逆になっている。

①は適当。旧図では、大淀川沿いの県庁付近を中心とした市街地を取り巻くように農

地が分布していたが、新図では建物用地に転換している。

②は適当。新図では大淀川河口の左岸に港湾施設が造成されている。

③は適当。新図の大淀川河口の右岸で、空港の北部や西部で建物用地が拡大している。

問5 34 正解は④

農作物3品目の市町村別生産を示す統計地図を判定する。農業産出額のデータをどう活用するかが鍵となる。

乾燥シイタケはキ。シイタケは伐採された原木に菌を埋め込んで栽培するため、主に山間部で生産される。平野部から離れた北西の山地で生産量が多い。

キュウリはク。温暖な気候とハウスなどの施設を利用した促成栽培によって土地集約的に生産され、フェリーなどで東京圏・大阪圏に出荷される輸送園芸農業が行われている。そのため、輸送の便が良い宮崎港周辺に産地が集中、これが宮崎市と周辺市町村の耕地面積当たり農業産出額に反映されている。

早場米はカ。稲作は伝統的に平野部の全域で行われている。

問6 35 正解は①

口蹄疫に関する会話文の空欄に適語を補充する。過去の出題と比較して、内容的に斬新であった。問題としては、落ち着いて取り組みさえすれば、きわめて平易である。

サは「高い」。接触等によって感染するのだから、近接度が高いほど感染のリスクが高まるのは当然である。

シは「4月」。図7によると、4月に口蹄疫が確認された地域では、国道から離れた内陸部にも多くの消毒ポイントがみられる。他の地域では国道沿いに多く、4月の地域に比べて設置が疎らになっていることも明らかである。